

# 令和4年度第3回庄原市情報教育研修会

- 日時：令和5年2月17日（金） 13：45～16：35
- 場所：庄原小学校
- 対象者：庄原市内各小・中学校のICT活用推進リーダー22名

## 目的

- ・プログラミング教材「ミライキッズ」について理解する。
- ・2学期におけるタブレット端末活用状況について確認するとともに、自校の活用状況について振り返る。
- ・各校の実践報告を通して、自校の取組の参考とするとともに、次年度の予定について理解する。

## 講話「ミライキッズについて」

NPO法人 ミライキッズ 奥島 康弘



### 【講話の概要】

- ミライキッズは、文部科学省「子供の学び応援サイト」に教材が紹介されており、Scratchを使ったプログラミング教材である。
- 小学校、中学校の発達段階に応じた教材があり、動画視聴により制作過程を学べる。

## 講話・交流「ICT活用の実際について」

実践交流・パネルディスカッション「タブレット端末活用場面について」

パネリスト：西城中学校 教諭 末田 和也  
高野中学校 教諭 住田 裕磨  
口和中学校 教諭 清水 祐史

## 講話「ICT活用の今後の予定について」

庄原市教育委員会 指導主事 砂走 敏和



ICT活用に係る取組について意見交流をしている様子



パネラーが推進上の課題について答えている様子

### 【講話・交流・演習の概要】

- 授業を担当している教員を対象とし、2学期のタブレット端末活用状況のアンケート結果から、タブレット端末やアプリケーションの利用頻度等についての実態を確認した。
- ICT活用推進リーダー3名がパネラーとして、各校の実践発表を行うとともに、推進上の課題について、対応の方法や取組について交流を行った。
- 年度更新に向けた報告内容について周知した。

## 講評「デジタル機器活用に向けて」 広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 有田 貴信



デジタル機器を効果的に活用している姿について3つの視点を示された

### 【講評の概要】

- デジタル機器を効果的に活用している姿として、授業のねらいに対して、直接的、間接的、授業外の3つの視点がある。
- ICT活用の基本的な考え方として、「教師は効果的に使う」「児童生徒は日常的に使う」という2つの視点を一体的に捉えて授業改善に取り組むこと。

### 【参加者から】

- ・ICTが得意・不得意とあるが、子供たちの将来にとって何が最適なのかを考える中に、ICT活用も含める必要がある。
- ・「ICT活用がなぜ必要か。」「日常的に使用するとはどういう意味か。」という捉え方の部分を共有することができれば、さらに納得して使用できる人が増えると感じた。